

## 教育はおとなと子どもの関係

### 「教育」の概念

- ・ デュルケム(Durkheim,E) 教育と社会学 1922

教育とは、成熟した諸世代によって、まだ社会生活に馴れない諸世代の上に行なわれる作用である、教育の目的は、全体としての政治的社会がまた個人に対して特に予定されている特殊的环境が、子どもに対して要求する一定数の肉体的、知的及び道德的諸状態を、子供の中に現出させまた発達させることにある。

- ・ ソビエト教育科学アカデミア編「ソビエト教育科学辞典」1960

教育（ヴォスピターニエ）とは、新しい世代を社会生活と生産労働とにむかって準備することを目的として、彼らに社会的・歴史的経験を伝達することである。環境と特別に組織された諸条件とのもとで、児童・少年少女・男女青年の精神力と肉体力との発達、彼らの世界観の形成、彼らによる知識・能力・習熟の獲得が行なわれる。

- ・ 人間の成長の段階に合わせた課題を解決消化していくための方法 = 発達理論

成長段階

適応段階

成熟段階

- ・ ハビガースト(Havighurst,R,J)による発達課題・理論 「人間の発達課題と教育」

## ハビガーストの発達課題

胎児期	諸器官をまったく生物学的に形成すること
幼児期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 歩行の学習</li> <li>2 固形のおもちゃをとることの学習</li> <li>3 話すことの学習</li> <li>4 排泄の仕方を学ぶこと</li> <li>5 性の相違を知り、性に対する慎しみを学ぶこと</li> <li>6 生理的安定を得ること</li> <li>7 社会や事物についての単純な概念を形成すること</li> <li>8 両親や兄弟姉妹や他人と情緒的に結びつくこと</li> <li>9 善悪を区別することの学習と良心を発達させること</li> </ol>
児童期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ふつうの遊戯に必要な身体的技能の学習</li> <li>2 成長する生活体としての自己に対する健全な態度を養うこと</li> <li>3 友だちと仲よくすること</li> <li>4 男子として、また女子としての社会的役割を学ぶこと</li> <li>5 読み・書き・計算の基礎的能力を発達させること</li> <li>6 日常生活に必要な概念を発達させること</li> <li>7 良心・道徳性・価値判断の尺度を発達させること</li> <li>8 人格の独立性を達すること</li> <li>9 社会の階級や諸集団に対する社会的態度を発達させること</li> </ol>
青年期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 同年齢の男女との洗練された新しい交際を学ぶこと</li> <li>2 男性として、また女性としての社会的役割を学ぶこと</li> <li>3 自分の身体の構造を理解し、身体を有効に使うこと</li> <li>4 両親や他のおとなから情緒的に独立すること</li> <li>5 経済的な独立について自信をもつこと</li> <li>6 職業を選択し準備すること</li> <li>7 結婚と家庭生活の準備をすること</li> <li>8 市民として必要な知識と態度を発達させること</li> <li>9 社会的に責任のある行動を求め、そしてそれをなすとげること</li> <li>10 行動の指針としての価値や倫理の体系を学ぶこと</li> </ol>
壮年初期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 配偶者を選ぶこと</li> <li>2 配偶者との生活を学ぶこと</li> <li>3 第一子を家族に加えること</li> <li>4 子どもを育てること</li> <li>5 家庭を管理すること</li> <li>6 職業に就くこと</li> <li>7 市民的責任を負うこと</li> <li>8 適した社会集団を見つけること</li> </ol>
中年期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 おとなとしての市民的・社会的責任を達成すること</li> </ol>